

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 山口卓也

開催月日	令和6年10月23日		
開催時間	10時～11時		
開催場所	ポートメッセなごや		
主催者	リード エグジビション ジャパン株式会社		
研修会等の名称	オートモーティブ ワールド 名古屋(スマート物流EXPO)		
講師等の氏名等	ヤマト運輸(株)執行役員(グリーンイノベーション開発、サステナビリティ推進統括) 福田 靖 氏 ロジスティード(株)業務執行役員西日本統括本部中部営業所本部長 永尾 清志 氏		
内容・結果等	【講義名】「トップ企業が語る、サステナブルな物流実現に向けた技術と取り組み」		
	＜ヤマト＞宅配便国内シェア46.7%であるが、インフラ化しており埋没してしまっている。		
	・グリーン物流の取組:EV導入、燃料電池トラック実証、太陽光発電による自家発電化。		
	・能登半島地震では電気の配達の要望があり、電気を届ける新たな価値創造も視野に。		
	・共同輸配送プラットフォームの構築:2030年には20～30%の荷物が運べなくなるので、		
	中継拠点を介した幹線輸送の仕組みづくりへ。混載、中継、定時をスタンダードにする。		
	＜ロジスティード＞物流環境の変化から、自動化、省人化の設備導入を推進している。		
	自動運転フォークリフトで、トラックから倉庫へ、倉庫内も自動運転フォークリフトで完全自動化を実現		
	物流業界は競争より協業の時代へ。働き方改革、自動運転化、ロボット化の発展へ。		
	【まとめ・感想】物流2024年問題とされる現場の実情と対策を知ることができ理解できた。		
	自動運転フォークリフトの映像を見て、自動運転技術の物流業界での先行導入は危険性も少なく		
車の自動運転技術の発展に繋がる良い取組と感じた。物流業界から社会課題解決を期待。			
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費	(嬉野～福岡空港～中部国際空港～会場)	24,480
	宿泊費	アパホテル	18,500
	振込手数料		
	合 計		42,980

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口卓也

開催月日	令和6年10月23日		
開催時間	15時～15時40分		
開催場所	ポートメッセなごや		
主催者	リード エグジビション ジャパン株式会社		
研修会等の名称	オートモーティブ ワールド 名古屋		
講師等の氏名等	(株)デンソー執行幹部社会イノベーション事業開発統括部長 加藤 充 氏		
内容・結果等	【講義名】「未来の循環型モノづくりの実現を目指して」		
	・サーキュラーエコミーは、製造→利用→回収→破棄。リサイクルと経済性の両立が重要。		
	・世界自動車販売の20%が日系車、中国市場を除くと3台に1台が日系車であるので、		
	サーキュラーエコミー(資源循環)の技術の責務もあるし、効果もある。		
	・欧州、北米、中国、インドは域内で生産・販売で域内で循環しているが、日本は輸出大国		
	なので、材料は外国から仕入れ、海外に輸出するので材料を回収できない。		
	・サーキュラーエコミーに対する各国の取組は、欧州は産官学一体、中国は国家主導(海外リサイ		
	クラ買収)、北米は民間主導(アップグレード技術開発)、日本は産官学一体。		
	【まとめ・感想】資源の無い日本における自動車産業における資源回収の最先端を知る良い		
	機会であった。「Car to Car」の自動精緻解体に向けた技術に期待したい。欧州が先行して		
カーボンニュートラルの社会経済、SDGsレースへの順応を求めているが、本日の講義を聞くと			
ここから本気になった日本の勢い、緻密性に優れた日本技術が凌駕するのではと感じれた。			
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費	(嬉野～福岡空港～中部国際空港～会場)	
	宿泊費		
	振込手数料		
	合 計		前頁に記載